

令和3年度 学校経営計画・学校評価シート(案)

高知県立山田特別支援学校

<p>《高知県の教育の基本理念》</p> <p>(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材</p>	<p>《6つの基本方針》 ①チーム学校の推進 ②厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性にに応じた教育の充実 ③デジタル社会に向けた教育の推進 ④地域との連携・協働 ⑤就学前教育の充実 ⑥学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保 《6つの基本方針に関わる横断的な取組》 ①不登校への相応的な対応 ②学校における働き方改革の推進</p>	<p>学校像</p> <p>児童生徒像</p>	<p>(1) 児童生徒が安全で安心して学べる学校 (2) 保護者に信頼され任される学校 (3) 地域に貢献し愛される学校 (4) 職員がやりがいと喜びをもてる学校</p> <p>○健康で心も体も逞しい児童生徒 ○基本的生活習慣を身に付けた児童生徒 ○社会と積極的に関わる児童生徒 ○意欲をもち粘り強く活動する児童生徒</p>	<p>目指すべき取組の概要</p>	<p>令和4年度までの中期目標</p> <p>○柱Ⅰ カリキュラムマネジメントによる授業改善からよりよい教育課程の編成 ・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学びに向かう力」の確実な育成 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善</p> <p>○柱Ⅱ 基本行動の確立 ・温もりのある学校文化の醸成と豊かな心の育成取組 ・規範意識、思いやり、自立心の涵養</p> <p>○柱Ⅲ 文化・芸術・スポーツの振興 ・感染症対策の徹底による文化・スポーツ行事の推進 ・児童生徒の文化・芸術的な取組の積極的な発信</p> <p>○柱Ⅳ ICT教育の充実 ・リモートシステムの活用 ・一人一台タブレット端末の活用</p> <p>○柱Ⅴ 働き方改革による児童生徒に向き合う時間の確保 ・校務支援システムの活用による校務の効率化 ・学習支援員、ICT支援員等の人材活用による負担軽減(予定)</p>
---	--	-------------------------	--	-------------------	--

《重点取組項目》

(評価 A:目標を十分に達成 B:ほぼ目標を達成 C:やや不十分 D:改善を要する)

項目	取組ねらい【P】	現状と目標【評価指標】	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	学校関係者評価	見直しのポイント【A】		
専門性の向上	カリキュラム教育課程の編成による授業改善	<p>(1)「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学びに向かう力」の確実な育成を図る。</p> <p>●昨年度から各教科の内容を重視した授業実践を行ってきたり、学習指導要領の視点での授業改善が進んできている。</p> <p>○各教科の内容を取り入れた学習指導案等を作成し、評価と一体化した授業実践を行うことができたかの学校評価アンケートでの肯定的評価を90%以上とする。</p>	<p>・教育課程表から生活単元学習を除き、新たに理科、社会を取り入れるとともに、学習指導要領から各教科の内容を取り入れた学習指導案等を作成し、評価と一体化した授業実践を行う。</p>	B	<p>・全学部が各教科を重視して校外に発表し、次年度の授業作りにつなげる。学習評価表の検討をまとめ、全校で評価基準の改善を検討していく。</p>	A	<p>・学校評価アンケートでは、成長の記録を参考にしながら3観点に基づく授業実践ができていた教員が81.3%であった。各教科を重視した授業実践をほぼ92.3%の教員が実践できた。</p> <p>・各教科の内容、段階を重視した授業実践を92.3%の教員が進めることができた。新学習指導要領に基づく意識改革は、91.2%の教員ができたと評価している。</p>	A	<p>・新学習指導要領に基づく授業実践が2年経過し、教員の意識改革が定着している。</p> <p>・各教科の内容、段階を重視した授業実践を多くの教員が進めることができた点は、非常に評価されるべきところである。</p> <p>・学校年度末評価では、肯定的評価結果の総括となっている。一方、アンケート集計結果(資料1)は、否定的評価に留意し、今後の取り組みの方向性が整理されている。両側面(複眼的手法)を大切に実効性を高めてほしい。</p>	
		<p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善</p> <p>●「地域とつながる」単元の授業は、全校でほぼ実施できているが、授業の内容の充実についてはまだまだ課題が残っている。</p> <p>○学校評価アンケートの「地域とつながる単元の授業内容の充実ができたか」の評価が「そう思う」33%→60%以上、「少しそう思う」を入れた肯定的評価が100%とする。</p>	<p>・「地域」を重視した探究型学習を取り入れた学習を年間計画に位置付けて、計画的に実施する。</p> <p>・香美市のコラボ会議等で地域の情報収集を行いながら、地域との連携につなげる。</p>	B	<p>・「地域とつながる探究の学習は着実に実践されている。地域での販売清掃活動を始め、今後イベントでの学習発表をおこなっていく。</p>	B	<p>・「地域とつながる探究の学習を、主体的に対話的で深い学びの手法で実践を重ねることができた。ICTを活用し、しょうが農家の方と交流し学習をおこなうことができた。生徒達が考え、地域の店や高知の特産品などの学びを深めることができた。</p> <p>・学校評価アンケートでは、肯定的評価が 68.1%であった。</p>	B	<p>・肯定的評価100%の目標が教職員アンケートで68.1%となった理由が何か、評価シートに記載されている「授業の内容の充実」に課題が残るならば、それは地域との連携が困難になっているコロナ禍の一時的な問題なのではなかろうか。</p> <p>・学校年度末評価では、肯定的評価結果の総括となっている。一方、アンケート集計結果(資料1)は、否定的評価に留意し、今後の取り組みの方向性が整理されている。両側面(複眼的手法)を大切に実効性を高めてほしい。</p> <p>・「要望等」にある「支援教育について話し合いができる場がほしい」「主体性」「地域探求」などは、授業改善を図るうえで、相互理解が深まることを期待します。</p>	
キャリア教育の充実	基本行動の確立	<p>・規範意識、思いやり、自立心の涵養</p> <p>●昨年度から特設の時間での道徳教育に取り組み実践を積み重ねてきており、重大ないじめ等の問題は昨年度は0件であった。家庭や学校生活等における問題行動は12件であった。</p> <p>○重大ないじめ問題の件数0件。児童生徒の生活等における問題行動を前年比50%以下にする。</p>	<p>・知的障害特別支援学校における「特別の教科道徳」及び道徳科の授業の充実を図るとともに、学校全体で指導内容を整理する。</p> <p>・各学部において道徳教育に関する公開授業を実施する。</p>	B	<p>・小中高と系統立てた道徳の実践ができるよう取り組んでいく。一年間の取り組みを集約し分析をおこなう。</p> <p>・基本行動の2回目のアンケートを実施し挨拶、身だしなみの定着を数値化、分析を行う。</p> <p>・重大ないじめ事案0件をめざす。</p>	A	<p>・本校独自の指導内容表に基づき児童生徒の実態を考慮し創意工夫しながら授業実践を重ねることができた。公開授業や教材公開を実施した。HPにまとめ発信した。上廣道徳教育賞では、全国中学校の部で最優秀賞を受賞した。</p> <p>・学校評価アンケートでは、道徳の教科の必要性の意識や教員の実践力が向上し、80.2%が効果的な指導を行うことができた。</p>	A	<p>・上廣道徳教育賞での最優秀賞受賞は本校の道徳教育が全国レベルで評価されているということであり、非常に嬉しく思います。</p> <p>・道徳教育は、すぐに結果が目に見えるものではありませんが、保護者等への授業内容を公開することで、より連携が図れると思います。</p> <p>・実践が高く評価されたことは自信につながると思います。一過性に終わることなく、今後も継続した取り組みを期待します。</p>	
	文化・芸術・スポーツの振興	<p>・感染症対策の徹底による文化・スポーツ行事の推進</p> <p>・児童生徒の文化・芸術的な取組の積極的な発信</p> <p>●新型コロナウイルスのため、多くの文化・スポーツ行事が中止、縮小されてきた。また、文化・芸術に関する発表の場が少なくなってしまう。</p> <p>○新型コロナウイルスの状況に配慮しつつ、文化祭や運動会を実施できたか。</p> <p>○校外の発表の場や大会に積極的に参加できたか。</p>	<p>・文化祭や運動会に関しては、できるだけ中止しないように、感染対策を徹底するとともに、内容を工夫して実施する。</p> <p>・文化・芸術に関する発表の場の情報収集を行い、担当部署と情報を提供する。また、学校独自の発表の場の設定を検討し、積極的に実施する。</p> <p>・校外のスポーツ大会等の開催状況の情報収集し、担当部署と共有する。</p>	B	<p>・運動会については、規模を縮小(午前中開催)したり、保護者の入場制限を行うなど感染対策を取りながら実施できた。</p> <p>・スポーツ大会がことごとく中止となり、参加できていない。</p> <p>・香美市よってたかつて生涯学習フォーラムへの出品、出展を計画している。</p>	B	<p>・コロナ禍の中、運動会、文化祭ともに、創意工夫しながら開催することができた。</p> <p>・運動会は時間短縮の中で、応援合戦や集団競技を重視し、達成感だけでなく、協力することや全体の力の喜びを感じ、生きる力の向上を図ることができた。</p> <p>・文化祭では、主体的に生徒が店を運営したり、集団行動を発表することができた。地域発表の代替として校内発表をおこなった。</p>	B	<p>・コロナ禍での運動会、文化祭、PTA事業の開催については、最小限の制限での実施を検討、実現していただき、保護者としては感謝いたします。来年度は、より生徒たちの主体性を重視した活動、発表ができることを願います。</p> <p>・広く、文化・芸術的な取り組みに参加し、本校の実践を発信していく。</p> <p>・文化・芸術に関する作品展や展示会などに積極的に応募し本校の取組を発信していく。</p>	
学校設定項目	ICT教育の充実	<p>・集団学習及び遠隔授業による学習保障の推進</p> <p>・授業におけるタブレット端末の活用事例の集約と共有</p> <p>●現在、ICTの活用は限定的である。本年度から、小中学部の児童生徒にはタブレット端末が配備されるため、その効果的な活用について研究する必要がある。</p> <p>○学校評価アンケートにおいて、児童生徒の学校におけるICTの使用頻度、1日1回以上を80%以上とする。また、教員が担当した授業におけるICTの使用頻度を週3日以上を100%とする。</p>	<p>・分掌部としてICT教育部を置き、ICT活用の推進を行う。</p> <p>・タブレット端末の活用方法についての研修会を実施する。</p> <p>・ICT教育部において、不登校傾向の生徒等に対する遠隔授業について検討し、可能な範囲で実施する。</p> <p>・タブレット端末を活用した実践事例等を共有フォルダー内で共有できるようにする。</p>	B	<p>・ICT教育部を中心に研修を行っているところである。</p> <p>・ICT支援員を雇用し、教材の作成、機器の操作等について専門的なアドバイスをいただいている。</p> <p>・不登校傾向の生徒等に対する遠隔授業については、機器の貸し出し等のマニュアルが整備されていないため未実施。</p>	B	<p>・冬休み期間に、全教員にICT研修を実施した。</p> <p>・機器の活用方法の教員のスキルも向上し、授業の中にChromebook等の機器を取り入れた授業をおこなうことが大幅に増え、62.6%が何等かのICT機器を週3回以上授業に取り入れて実践できている。</p> <p>・学校評価アンケートにおいて、54.9%の児童生徒が1日1回以上ICTに触れることができた。</p>	B	<p>・ICTの使用頻度を第一段階の目標とすることは重要であり、過半数が実践できているというアンケート結果も評価できると思います。保護者としては、本校生徒の特性を重視したICTの活用による学びの向上、コロナ禍での休校時の家庭学習支援を期待します。</p> <p>・効果的な活用事例が期待されます。</p>	
	働き方改革	<p>・校務支援システムの活用による校務の効率化</p> <p>・学習支援員、ICT支援員等の人材活用による負担軽減(予定)</p> <p>●これまで、各種会議や行事について精選を行ってきたり、これ以上の精選は難しい。令和2年度は、長時間勤務者(45時間以上)の対象者が2名あった。</p> <p>○長時間勤務(45時間以上)の対象者を年間0人にする</p>	<p>・校務支援システムの活用方法についての研修を行う。</p> <p>・繁忙期の年度末に放課後の機械警備の時間を遅くしていたが、現状の繁忙期に合わせて見直しを行う。</p> <p>・支援員等の配置により、教員の空き時間を確保し、授業準備や教材作成の時間を確保する。</p>	C	<p>・システム開発の遅れにより、一部のシステムしか活用できていない。</p> <p>・長時間勤務(45時間以上)の対象者が4月に2名いた。</p> <p>・学習支援員、ICT支援員の人材活用はしているものの、まだまだ負担軽減までには至っていない。</p>	B	<p>・ICT支援員の活用が放課後に集中するため、活用方法について各学部で検討する。</p> <p>・在校時間管理システムへの登録を正しくおこなわせるとともに、個々の時間管理をしっかりさせると。</p> <p>・決められた退勤時間前の放送や、時間外勤務時間が30時間を超えた教職員へ注意喚起を促す。</p>	B	<p>・ICT支援員、学習支援員の有効活用により、長時間勤務者が、5月以降0名となった。</p> <p>・小中のほぼ全員の教員が、学習支援員の人材活用により、業務内容が減り、退勤時間が早まったと回答した。</p>	B